

火災・救急・救助は局番なしの119ばん

携帯電話からも、局番なしの**119**ばん

(GPS機能付携帯から、119番通報すると、災害地点が表示されてすぐ場所が確認できます。)

※休日当番医の問い合わせは、**42-3181**番へ！災害の問い合わせは、**42-3000**番へ！
その他は、各課のダイヤルインへ！



総務課 **42-3191**・予防課 **42-3184**・通信課 **42-3181**
消防課 **42-3189** (警防係 **42-3183**)



◆ 発 行 ◆

上球磨消防組合

代 表 TEL 42-3181
東分署 TEL 47-8119

<http://www.union.kamikuma-fire.lg.jp/>



救急の日及び救急医療週間に伴い、公立多良木病院前にてキャンペーンを実施



人吉高校の3名が職場体験に来ました！

11月9日～15日まで、秋の火災予防週間です！

平成24年度 全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

- 財政事情の公表
- 春の叙勲 仁田原氏インタビュー
- 第29回熊本県消防操法大会が開催されました。
- 第41回全国消防救助技術大会（水上の部）に 檜木消防士が出場
- 新任消防士が初任教育終了しました。

財政事情の公表

■上球磨消防組合告示第4号

地方自治法第243条の3第1項及び上球磨消防組合財政事情の公表に関する条例の規定により、財政事情を次のとおり公表する。

平成24年10月1日 上球磨消防組合長 松本 照彦

1. 平成23年度歳入歳出状況（平成23年10月～平成24年5月）

(1) 歳入 (単位：千円)

款	予算額 (A)	補正額 (B)	合計	歳入済額 (C)				差引残額 (A)+(B)-(C)	収入率 (%)
				4～9月	10～12月	1～5月	計		
1 分担金及び負担金	570,607	△6,957	563,650	425,801	137,650	284	563,735	△85	100.02%
2 使用料及び手数料	200	0	200	72	56	10	138	62	69.00%
3 国庫支出金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
4 県支出金	45	558	603	0	0	600	600	3	99.50%
5 財産収入	27	0	27	0	11	16	27	0	100.00%
6 寄附金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
7 繰入金	10,000	△1,600	8,400	0	0	8,400	8,400	0	100.00%
8 繰越金	4,000	0	4,000	4,000	0	0	4,000	0	100.00%
9 諸収入	4,619	2,114	6,733	27	216	6,946	7,189	△456	106.77%
10 組合債	8,000	7,900	15,900	0	0	15,900	15,900	0	100.00%
歳入合計	597,500	2,015	599,515	429,900	137,933	32,156	599,989	△474	100.08%

(2) 歳出 (単位：千円)

款	予算額 (A)	補正額 (B)	合計	歳出済額 (B)				差引残額 (A)+(B)-(C)	支出率 (%)
				4～9月	10～12月	1～5月	計		
1 総会費	361	0	361	13	22	298	333	28	92.24%
2 総務費	39,253	△1,963	37,290	12,994	7,263	14,247	34,504	2,786	92.52%
3 消防費	538,962	3,978	542,940	241,202	138,550	120,885	500,637	42,303	92.20%
4 公債費	17,645	0	17,645	8,843	0	8,802	17,645	0	100.00%
5 諸支出金	1	0	1	0	0	0	0	1	0.00%
6 予備費	1,278	0	1,278	0	0	0	0	1,278	0.00%
歳出合計	597,500	2,015	599,515	263,052	145,835	144,232	553,119	46,396	92.26%

2. 組合の財産

種類	数	量
土地	上球磨消防本部消防署 4,717.00㎡	東分署 1,698.00㎡
建物	庁舎 999.29㎡	車庫及び資料室 357.73㎡ 倉庫 54.79㎡ 東分署 251.24㎡
車両	指令車、タンク1号車、タンク2号車、救助工作車、高規格救急1号車、高規格救急2号車、救急3号車、マイクロバス 資機材搬送車、指導広報車、事務連絡車、ポンプ車(予備車)、東ポンプ車、東高規格救急車、東広報車	

3. 平成24年度当初予算

(1) 歳入 (単位：千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較
1 分担金及び負担金	563,885	570,607	△6,722
2 使用料及び手数料	300	200	100
3 国庫支出金	1	1	0
4 県支出金	41	45	△4
5 財産収入	71	27	44
6 寄附金	1	1	0
7 繰入金	19,000	10,000	9,000
8 繰越金	4,000	4,000	0
9 諸収入	200	4,619	△4,419
10 組合債	1	8,000	△7,999
歳入合計	587,500	597,500	△10,000

(2) 歳出 (単位：千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比較
1 総会費	364	361	3
2 総務費	48,611	39,253	9,358
3 消防費	519,643	538,962	△19,319
4 公債費	17,565	17,645	△80
5 諸支出金	1	1	0
6 予備費	1,316	1,278	38
歳出合計	587,500	597,500	△10,000

(3) 町村別負担金の状況 (単位：千円)

1 多良木町	153,802
2 湯前町	76,910
3 水上村	52,984
4 あさぎり町	279,989
5 椎葉村	100
6 西米良村	100
7 防災消防航空隊	0
合計	563,885

(4) 性質別経費の状況 (単位：千円)

1 人件費	475,001
2 物件費	71,314
3 維持補修費	1,206
4 補助費	7,415
5 公債費	17,565
6 積立金	12
7 投資的経費	7,201
8 扶助費	6,470
9 予備費	1,316
合計	587,500

春の叙勲

元須恵村消防団長 仁田原克巳氏
「瑞宝単光章」受章

にたばる



平成二十四年春の叙勲の消防功勞として元須恵村消防団長の仁田原克巳氏（阿蘇）が瑞宝単光章を受章されました。

仁田原さんは、昭和四十二年に旧須恵村消防団に入団後、分団長、副団長を経て、平成五年四月から平成九年三月まで、消防団長を務めました。

消防人生三十年の永きにわたり地域の消防、防災に尽力し、安心安全な地域づくりに大きく貢献されたことが高く評価され、受章となりました。

「元須恵村では、二十三年無火災でありましたが、副団長の時中学校の講堂が焼ける火災（平成二年十月）が発生したことや、行方不明者の捜索で何回も捜した場所で、不明者の老人を発見して捜索の難しさを感じました」と消防団を退団されて十五年、

当時の様子を語っていただきました。現在三十六年勤められた建設会社を退職後、農業に従事しながら、再就職して西米良まで通勤されているそうです。受章の御喜びと、今後のご活躍をお祈り申し上げます。



【主な経歴賞歴】

昭和42年4月 須恵村消防団入団
昭和51年4月 班 長
昭和59年4月 部 長
昭和61年4月 分団長
昭和63年4月 副団長
平成5年4月 団 長
平成9年3月 退 職

※旧須恵村の無火災記録は、昭和42年5月の浜ノ上原野火災から、23年間無火災であったそうです。

第29回熊本県消防操法大会開催

八月二十六日（日）天草市本渡町広瀬の大矢崎緑地公園特設会場にて第二十九回熊本県消防操法大会が行われました。

熊本県下からポンプ車の部二十チーム、小型ポンプの部二十八チームが優勝を目指し競い合い、日頃の訓練の成果を披露されました。

上球磨管内から球磨郡代表として、ポンプ車の部では多良木町消防団（森下孝幸団長）。小型ポンプの部では、あさぎり町消防団（西昭一団長）が出場されました。両団共に上位の成績を収められ、多良木町消防団がポンプ車の部で準優勝。あさぎり町消防団が小型ポンプの部で4位という成績でした。

個人優秀選手賞の部では、ポンプ車の部、指揮者として出場された多良木町消防団の濱岡信夫さんが表彰を受けられました。

参加された選手の皆さんお疲れ様でした。

◆多良木町消防団のメンバー

- ・団 長 森下 孝幸
- ・第一分団長 遠山 利明

◆あさぎり町消防団メンバー

- ・指揮者 濱岡 信夫
- ・1番員 愛瀬 哲郎
- ・2番員 吉田 功三
- ・3番員 中村 大作
- ・4番員 北原 義隆
- ・補欠員 和泉誠史郎
- ・副団長 西 昭一
- ・" 野々脇正巳
- ・" 深水 久士
- ・指揮者 仁田原裕輝
- ・1番員 別府 裕介
- ・2番員 源島 義康
- ・3番員 谷川 正翁
- ・補欠員 西野 和博



聴覚障がい者対応型住宅用火災警報器推進無料で設置されています！

消防庁では平成23年度政府予算による支援事業で、聴覚障がい者を対象に光警報器等の補助警報器装置を付属した住宅用火災警報器の無償設置を行っています。

詳しいことは、各町村の役場の方にお問い合わせください。

お申込みは **【消防庁補助事業】**
平成**24**年**12**月**31**日まで

聴覚障がい者対応型住宅用火災警報器 設置例

※寝室以外の居室または台所への設置は各市町村条例に基づきます。

無線連動式 住宅用火災警報器(煙式)

階段の警報器が火災を検知すると、無線連動により対象者寝室の警報器が警報を発します。

補助警報装置

住宅用火災警報器と接続、連動することにより、警報音以外の方法で火災をお知らせします。

光警報装置

強い光の点滅と警報音で火災をお知らせします。

または

振動警報装置

枕を振動させることで火災をお知らせします。
(対象者の聴覚障がい程度が3級以上、または盲ろう者の方の場合のみ設置可)

または

戸外警報器

音と光で家の外にいる方に火災をお知らせします。
(盲ろう者の方で希望される場合のみ設置可)

「聴覚障がい者対応型 住宅用火災警報器」って？

警報音が聞き取りづらい方のために、住宅用火災警報器と補助警報装置を接続したものです。警報音だけでなく**強い光の点滅**や**振動**などによって火災の発生をお知らせします。

城南ブロック消防広域化協議会継続協議を断念！

平成二十一年五月に発足した、城南ブロック消防広域化協議会から事実上離脱する旨の判断が、十月八日の正副組合長会で決まりました。

これまで、九回にわたり協議会が開催され、八割程度協議項目が審議され決定しておりましたが、今年八月に芦北町、津奈木町の協議会からの離脱表明を受け、水保芦北消防組合を組織する水保市が、広域行政事務組合から消防を抜きにした行政運営が考えられないとの判断から、水保芦北広域行政事務組合消防本部が城南ブロック消防広域化協議会から離脱することとなり、残った三消防本部での協議を進めていくのか否かの判断を求められていました。

上球磨消防組合の正副組合長会も、三消防本部での協議継続は、消防力の強化から考えた場合、当初の目的から逸脱するのではないかとこの判断から、上球磨消防組合としては協議会から離脱するとの判断に至ったものです。

消防広域化の問題は、総務省消防庁の指導で、「熊本県消防広域化推進計画」に基づき平成二十一年五月七日に設立総会が発足し、熊本県で一本化し広域化を行うのか、或いは熊

本県下の消防本部を四ブロック（城北・中央・城南・天草）に分けて広域化を行うなどの意見から、四ブロックに分けた広域化が進められてきましたが、城北ブロックにおいては菊池消防本部の離脱、中央ブロックにおいては、上益城消防本部・宇城広域消防本部の離脱が次々と明らかになり、城南ブロックにおきましては、先に述べましたとおり、水保芦北広域行政事務組合消防本部の離脱があつておりました。

消防力の強化を目的に発足した協議会でありましたが、一つの消防本部が離脱することにより、当初の目的が達成できないと判断されたことによる上球磨消防組合の態度表明ということになりました。

今後は、原点に返り消防広域化の問題は考えていくとの判断を示された形となりました。

また、四町村の首長さん方及び、協議会議長さん方の考えとしては、これまで審議されてこなかった、人吉下球磨消防組合との広域化も地形的条件を視野に入れた考えがあることが確認されております。

(文責 次長 宮原)



県大会で入賞し、全国大会の切符を手にした榎木消防士

出場したのは基本泳法という種目で、「じゃく（顔が水中に沈まない）飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態

今年八月七日に行われた第四十回全国消防救助技術大会（水上の部）において熊本県代表として、榎木義明消防士が出場しました。

全国消防救助技術大会に出場しました！

態で水難救助の基本泳法2種類（ぬき手、平泳ぎ）で25mずつ泳ぐ、水難救助の基本的な泳法を習得する訓練です。

■榎木消防士のコメント

結果は惜しくも入賞には至りませんでした。が、県大会から訓練を積み重ね、全力で取り組み事ができました。この経験を糧にして地域住民の方々のために日々精進していきます。応援して下さい。ありがとうございました。

救急の日

毎年9月9日は「救急の日」です。救急医療及び救急業務に対する国民の理解と認識を深め、救急医療関係者の意識の向上を図るため、9月9日を「救急の日」とし、9日～15日の一週間を「救急医療週間」として、救急業務の啓発運動を全国で実施しています。

上球磨では運動の一環として公立多良木病院と連携し、医師が救急車に同乗し、直接救急現場へ駆けつけるドクターカーの運用を実施しました。今回救急車に同乗したドクターを紹介します。



氏名：今屋 雅之（イマヤ マサユキ）
年齢：26歳 出身：宮崎県小林市
今回のドクターカー運用について：
運用期間中の出動は、ほとんどありませんでした。この機会に救急車の適正利用についての意識を地域に広めていけたらと思います。

ドクター紹介

今年も多くの中学生、高校生が上球磨消防署へ職場体験にやってきました。人吉高校から3名、多良木高校から4名、多良木中学校から6名、湯前中学校から3名、あさぎり中学校から6名の計22名の生徒が参加し2、3日程の短い日数でしたが消防業務について学んで行ってくれました。

参加してくれた生徒は、消防署の各車両や積載してある資器材の説明を受けた後、救助訓練や放水訓練、救急訓練を体験してもらいました。

救助訓練では、ロープ渡過、登はん訓練、交通救助訓練など緊張しながらも真剣に取り組んでくれました。放水訓練では、消防車両からホースを延ばし、放水の水圧を体験したりと普段できない体験をしてもらいました。

救急訓練では、救急車内での活動や心肺蘇生法などを学んでもらいました。

職場体験(インターンシップ)学習



人吉高校二年 荒嶽 大紫郎

消防士の仕事は想像していたよりもきつく自分の体力がない事を改めて実感しました。

夢を実現させるためにも、高校の間に体力をつけるため部活動を頑張り、勉強もしっかりしていきます。

インターンシップを体験して

私は将来、消防士になることが夢なので、今回のインターンシップで消防士についていろいろな事を学ぶことができ、本当に良かったです。

新任消防士六名が無事卒業！

平成二十四年四月から熊本県消防学校に入校し、消防士になるための、六カ月間の初任科教育を無事修了し、各部署に配属されました。

消防職員を志した動機と抱負について紹介させていただきます。

() 内は趣味特技



後列左から 中村・渡邊・和泉
前列左から 湊田・村山・城本



なかむら せいや
中村 星矢
(バレーボール)

私が消防職員を志した動機は、公務員である父が休日に出勤し、夜にいきいきと話す姿を見て人のために働きたいと思いました。
そのなかでも地域住民のために体を張って働く消防士に憧れたのが目指すきっかけです。
少しでも早く人のために働けるように日々の訓練を精一杯頑張り、地域住民の方々に認めてもらえるように頑張りたいです。



わたなべ ひさあき
渡邊 久晃
(ラフティング)

祖父が消防士だった事がきっかけで興味を持ち、自分も消防士になりたいと思うようになりました。
そんな中、東日本大震災での消防士の活躍を見て改めて消防士になる事を決意しました。
日々の訓練を積み重ね、一人でも多くの人を助けられるように頑張ります。



いすみ たつや
和泉 達也
(陸上)

新潟中越沖地震での消防の懸命な活動を見てとてもやりがいのある職業だと思い、志望しました。
日々、向上心を持ち訓練や勉強に励んでいきたいと思っています。
小さな頃からお世話になっている地域に恩返しができるよう努力し『消防志』の精神で精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



ふちた ともひろ
湊田 智宏
(野球)

私が中学生の時近所で火災があり、その時に消防士の方々が懸命な消火活動を行う姿を見て憧れを持ちました。また私の兄が消防士で、職場の話を聞くうち消防士になりたいと思うようになりました。
先輩方からの指導を受け、少しでも地域の方々に貢献できるよう努力を怠らず、立派な消防士になれるように頑張ります。



むらやま なおと
村山 尚瞳
(和太鼓)

私が消防士を志したのは、幼い頃にテレビで見た消防士の姿に憧れ、自分も人の命を救う仕事をしたいと思ったからです。
これから精一杯日々の訓練に励み少しでも早く住民の方々の信頼を得られるような消防士になりたいと思います。



じょうもと たかき
城本 剛希
(サッカー)

私が小学生の頃に火災現場に遭遇し、そこで消火活動をする消防士の姿を見て憧れを持った事が消防士を志したきっかけとなりました。
消防学校初任科で様々な事を学びましたが、まだまだ知識・技術・体力全てにおいて足りません。これから一日でも早く仕事を覚え、地域の方々に信頼されるような消防士になれるように頑張っていきたいと思っています。